

将来像実現のために必要な取り組み

話し合いで出された意見(一部抜粋)

既存の取り組み(一部抜粋)

分野別の将来像

今の課題・問題

話し合いで出された意見(一部抜粋)

既存の取り組み(一部抜粋)

分野

分野別の将来像

今の課題・問題

話し合いで出された意見(一部抜粋)

既存の取り組み(一部抜粋)

安全・安心

安心して暮らせる香焼

- ・空き家が多く、放置されていて防犯上危険
- ・安保トンネルが汚れていてイメージ的に暗く、ごみが多い
- ・通学時の見守りが少なく、登下校の子どもたちの安全面が心配
- ・スピードを出す車があり危険
- ・定期的な防災訓練が無い

- ・空き家の情報収集と活用の検討
- ・安保トンネルの高圧洗浄と塗装(子どもたちに絵を描いてもらう)
- ・非常電話と防犯カメラの設置を検討する
- ・下校時の見守りを強化する
- ・自治会を通じて周知徹底を図る等、スピードを落としてもらうための対策をとる
- ・消防署と消防団で防災訓練を計画する
- ・災害種類別の避難所を確定させる

- ・自治会等での清掃活動
- ・消防団の消防訓練
- ・月1回の集団下校



高齢者

「こんにちは」皆があいさつ 明るい香焼

- ・地域の中で、高齢者のみなさんに声をかけることが少ない
- ・老人クラブや自治会に入っていない方などの把握や情報共有が難しい
- ・車が運転できなくなったら、移動が困難になる

- ・あいさつと一声かけて皆で気がける
- ・独居や集合住宅の方などの見守りのしくみ作りが必要
- ・施設などを利用して、高齢者や子どもや子育て世代のふれあいの場をつくる
- ・買い物代行サービス、お店の無料配達、車の乗り合い等のしくみを検討する

- ・高齢者サロン
- ・友愛訪問
- ・移動スーパー(地域限定)



子ども

子どもを中心とした環境づくり

- ・遊び場(乳幼児対象)や遊具が少ない
- ・ラジオ体操が早い時期に終わる
- ・子育て世代の交流が難しい状況にある
- ・活動への父親の参加が少ない
- ・子育て等に関する情報発信が足りない
- ・子どもが少なく、子ども会の統合が必要

- ・空き地や公園を有効活用し、子どもたちが遊べるような場を増やす
- ・公園・遊具の整備を行政に願います。プールを利用しやすい環境をつくる
- ・お年寄りと世代交流をする
- ・親子で安心して過ごせる環境を整える
- ・地域センターの空き部屋や公民館を活用して、子育て世代の交流を行う
- ・イベントの年間・月間スケジュールを作り、回覧板やHP等で周知する
- ・スポットマップを作る
- ・子ども会の統合を検討する

- ・中学校と保育園の合同避難訓練
- ・子どもを守るネットワークのパートナー
- ・香焼絵本楽しむ会だるまちゃん
- ・地域施設と保育所との交流
- ・夏祭り(里、馬手ヶ浦)
- ・公民館子ども映画会 弘法さん
- ・サッカーまつり 教会バザー



交流・絆

イベントで世代・世界を超えた絆づくり

- ・核家族化が進み顔見知りの方が減った
- ・世代間で触れ合える機会が少ない
- ・外国の方及び企業との交流の機会を活用できていない
- ・地域の方が集まって話し合う場、集う場がない
- ・イベントへ参加する際の移動手段がない人がいる
- ・既存の行事への参加者が少ない

- ・各団体に連携し地域が一つになれるイベントを実施する(誰でも参加できる運動会、小中学校運動会、香焼走ろうフェスティバル等)
- ・町全体のイベントを行い、香焼音頭を踊って盛り上げる
- ・近隣の宿泊施設とコラボして香焼でペーロン体験(宿泊者)を実施する
- ・現在行われている行事内容を見直す
- ・外国の方との交流会を開く
- ・町内にある空き施設の利活用を行う
- ・陽香里工房さんと協力して参加者の送迎バスサービス
- ・行事の周知をしっかりと行う(有線放送等で)
- ・香焼の良いところをフリー雑誌に売り込む(アジサイ園、自然公園等)
- ・レインボーミュージックと香焼小学校の児童が作った香焼の歌を広める
- ・おすすめウォーキングマップを作る

- ・チューリップまつり
- ・ペーロン大会
- ・公民館まつり
- ・南部地区文化交流のつどい
- ・よかばいふれあい会

歴史・伝統

世代間を越えた伝統・文化の継承

- ・若い世代がまちの歴史を知らない
- ・まちの歴史を学ぶ機会がない
- ・地域、歴史、行事等の継承が必要

- ・説明案内板を設置したり、ガイドマップをリニューアルする
- ・長崎さるくを活用して、香焼を知ってもらう
- ・体験学習を実施する(ペーロン船で横島へ行く、横島・弘法大師等の歴史探訪)
- ・小・中学校の学習課程と調整して、ふるさと学習(地元の人が講師)の機会を定期的にもつ
- ・ふるさとを愛する心を育てる
- ・香焼のカトリックの歴史を学ぶ機会をつくる
- ・横島の写真資料を展示・説明する機会をつくる

- ・平和学習(捕虜収容所の調べ学習を実施)
- ・香焼公民館での成人講座(歴史)



人材育成

助け“愛”お互い様で力まずに

- ・自治会加入者が減少しているのだから加入してもらうか
- ・一人が何役もしているのだから負担軽減するか
- ・男性の参加者が少ないのだから加入してもらうか
- ・若者が住みたいと思う住宅・土地が少ないので、町外に出た若者が戻って来ることができない

- ・役職の免除をするなど自治会に入りやすくなる工夫を行う
- ・各団体で行っている行事等を集約し、連携をとる
- ・つながりをつくりながら、人材を育てていく
- ・誰もが参加しやすいイベントを催す
- ・若者が戻って来られるように住宅問題を解決する

- ・がんばっ会(多世代が加入)でのイベント活動
- ・香焼まちづくり連絡協議会での情報交換



環境

花のあるまちづくり

- ・ごみ分別が細くなくされていない
- ・地区間の雑草、道路の雑草が目立つ
- ・月1回の清掃に男性が少なく、女性が困っている
- ・香焼総合公園の活用
- ・サンゴが減少しているので守っていく必要がある

- ・分別の看板を分かりやすく示し、最新版のごみ分別表(アイウエオ順)を配布する
- ・資源ごみ等のリサイクルや譲渡を行い、ゴミを削減(アルミ缶、ペットボトルフタ、古新聞、段ボール、服、おもちゃ等)。
- ・草刈隊を作ったり、各自治会等で担当区域を決めたりして、協力して草刈りをする
- ・芝生広場、チューリップまつり、桜、アジサイ等のPRを強化する
- ・公園トイレの洋式化を検討する
- ・海岸等の清掃活動をする

- ・廃棄食材の削減やマイバック持参等環境に配慮した各家庭での取り組み
- ・廃品回収
- ・市道の草刈り
- ・花の植込み

交通・産業

新しい産業の開発と構築を目指す

- ・店が少なく、交通手段が限られ、買い物弱者が増えている
- ・働く場所が少ないので、働く世代が外へ出て行ってしまふ
- ・農業・漁業の活性化
- ・伊王島への通り道で観光バスも通っているが、停まってもらえないのはもったいない

- ・道の駅のようなしくみを作るため、地域の皆さんで議論したりノウハウを勉強に行く
- ・近隣の地域から農産品を集めて、販売できないか検討する
- ・働ける場所を検討する
- ・港や漁業権を活かして、釣り客を呼び込む
- ・香焼発着で軍艦島クルーズを実施する

- ・コミュニティバスの利用

